

Yokaro

TRAVEL PHOTOGRAPH



秋
2011
旅

熊本・宮崎・鹿児島



宮崎県／日南市 …… 猪八重溪谷
 宮崎県／えびの市 …… 六観音三池・えびの高原
 宮崎県／小林市 …… 生駒高原
 宮崎県／都城市 …… 池・小池
 熊本県／八代市 …… 日奈久温泉
 鹿児島県／出水市 …… 武家屋敷・芭蕉集落・上場高原
 鹿児島県／薩摩川内市 …… 蘭牟田池・入来麓武家屋敷群
 鹿児島県／伊佐市 …… 曾木の滝
 鹿児島県／霧島市 …… 霧島神宮
 鹿児島県／南さつま市 …… 亀ヶ丘・万之瀬川・竹田神社

Yokaro vol.04 秋

企画・制作・編集・撮影・取材 / デザインスタジオ ワイズ

2012 禁止・無断転載 © デザインスタジオワイズ

表紙：薩摩川内市 入来町内之尾



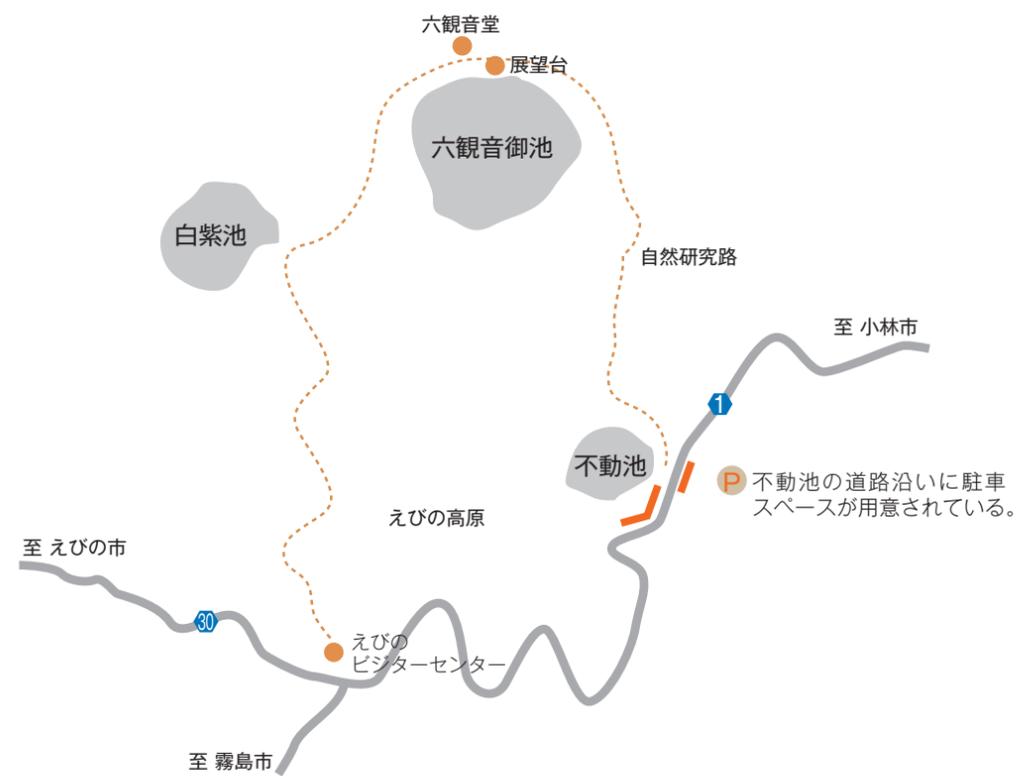
六観音御池

Rokukannonmike
宮崎県えびの市 Miyazaki Ebinoshi

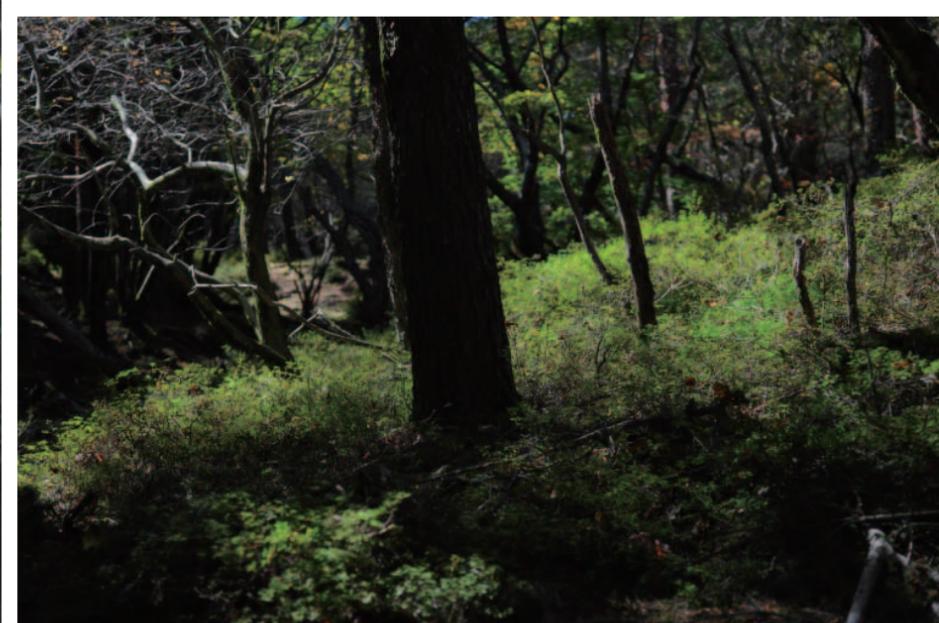
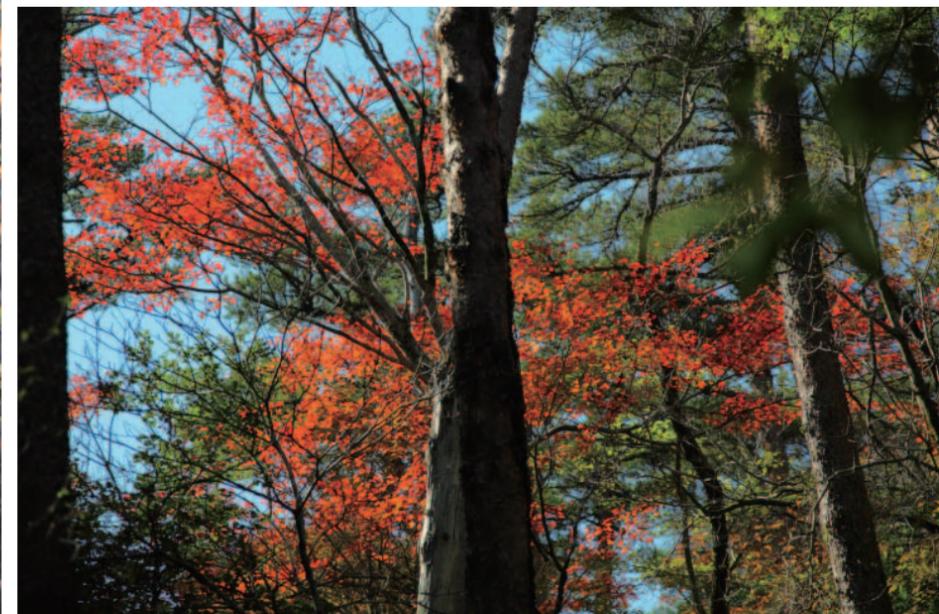
宮崎県と鹿児島県の県境に広がるえびの高原。その高原にある3つの池。不動池、六観音御池、白紫池。秋になると紅葉の名所として賑わう。特に六観音御池の周辺は、カエデ、ナナカマド、モミ、ツガ等がアカマツの間を赤や黄色に染め、湖面に映る姿が艶やかで美しい。

また、三つの池を巡ることもできる。自然遊歩道が整備されているので、のんびりハイキングをしながらの紅葉狩りにも、最適な場所だ。

例年10月の後半から11月初め頃が紅葉の見頃になっている。お昼過ぎからが順光で一段と美しい色合いを楽しめることもあって、展望台付近は、大混雑する。







六観音御池周辺の自然遊歩道も様々な植物を楽しむことが出来る。杉の大木や赤松の合間を紅葉が彩る風景が、池までの遊歩道沿いに続き、約30分ほどで池を望む展望台に到着する。また雨天時、湖面が霧に包まれる幻想的な風景も一見の価値がある。遊歩道の歩行にはスニーカーやトレッキングシューズの着用がオススメ。



えびの高原の周辺は秋、高原全体をススキの群生が埋め尽くす。紺碧の青空を背景に、山裾に幾重にも広がる、黄金色ススキ。清々しい秋の景観を楽しめる。



えびの高原
Ebinokougen
宮崎県えびの市
Miyazaki Ebino



紺碧の青空

御池 Mike
宮崎県高原町
Miyazaki Takaharu

宮崎自動車道の高原インターから約15分、霧島神宮から約20分の位置にある御池。霧島の火山活動で生まれた火口湖。水深が100m近くあり火口湖の中では日本一深い湖だ。周囲4kmの湖畔をカシやタブ等の広葉樹が取り囲むように、うっそうと生い茂っている。国道223号沿いの展望所からは、御池と緑の森、その先に高千穂峰や霧島連山の頂きを望むことができる。

秋の早朝、御池の空は晴れ渡り、仰ぎ見れば満天の星空が広がっていた。朝日が高千穂峰を照らし出し、少しづつ御池の全容が明らかになってくる。霧に覆われた湖面を、鴨の群れが静かに泳いでいた。







御池の隣にある小池。360°を森に囲まれた火口湖。御池から自然遊歩道に行くコースと、小池林道に行くルートがある。幹線道路から差ほど離れていないが、すり鉢状の火口壁が防音の役目をしているのか、喧騒がまったく聞こえない、静かな異空間を感じられる湖。

小池 Koike 宮崎県高原町 Miyazaki Takaharu

生駒高原

Ikoma Kougen

宮崎県小林市

Miyazaki KObayashi





生駒高原は、宮崎県小林市からえびの高原へと継る、なだらかな丘陵地帯に広がる。標高550m付近に位置し、周辺には霧島の韓国岳や甑岳、遠く九州山脈を望む、雄大な眺望が楽しめる場所にある。春には35万本の菜の花、初夏には25万本のアイスランドポピーや金魚草が、秋には色とりどりのコスモス100万本が高原を染めつくす。年間を通じて様々な花々が生駒高原を飾っている。

飢肥杉

宮崎県日南市
Miyazaki Nichinan
Obi shugi

鹿児島県の東部から宮崎県の南部、日南市へ続く一帯は急峻な山並みが連なっている。そこに整然と立並ぶ

広大な杉木立が飢肥杉だ。山裾から谷間へ杉の屏風が幾重にも重なり、美しく圧倒的な存在感がある。





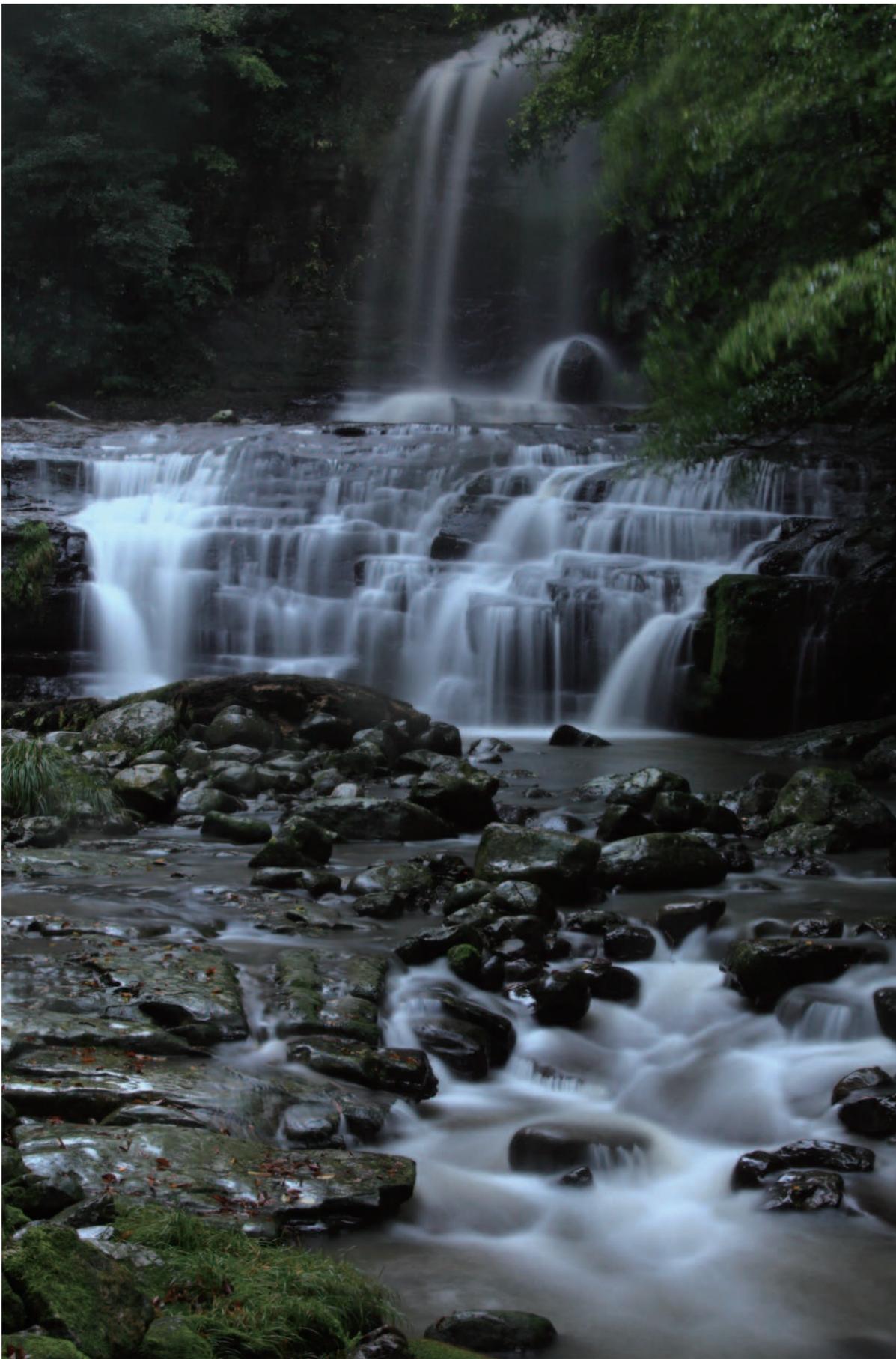
晩秋の北郷、もやが飢肥杉の森を包んでいた。所どころに赤や黄色に色づいた木々が見え隠れしている。山間部を、うねるように走る道路沿いの杉の森は、谷間から山頂までを覆い尽くしている。大きな緑の壁が、どこまでも深く繋がっているように見えた。

猪八重溪谷

Inohae Keikoku

宮崎県日南市

Miyazaki Nichinan



猪八重溪谷の最深部にある五重の滝。



遊歩道に架かる7本の橋。橋も風景の一部となり、それぞれが趣のある佇まいを見せている。

猪八重溪谷は、宮崎県日南市北郷町の、広瀬川の支流になる猪八重谷川にある。数か所の滝を深い森が包み込むような溪谷だ。猪八重溪谷側駐車場から、一番奥にある「五重の滝」までが約1時間ほど掛かる、昼間でも薄暗い林の中は、手付かずの自然が残されており、遊歩道は整備されているが途中、危険な箇所も数箇所あり、屋久島の山中を歩いているような感覚だ。特に雨天は増水で危険が増す場所もある。

「五重の滝」「流台の滝」「岩つぼの滝」を七つの橋が繋ぎ、森の中を登ったり下ったり、とかなりハードな場所だが、溪谷沿いの自然の美しさは、その苦勞を労ってくれる。上流から流れてきた巨大な岩が、積み上げられた風景や、多くの希少な苔が付着した木々の林も、屋久島と見紛う濃密な自然が残されている。



流合の滝 支流の交差する広い川原に流れ込む滝。
うっそうとした森を抜け、ぱっと開けた場所にある。

天孫降臨の地、霧島山の麓にある霧島神宮。秋の終わり、夕日を浴びた朱色の社殿や鳥居が、静かな佇まいの中、紅葉の名残りのように、ほんのりと染まって見えた。



霧島神宮
Kirishima zingu
鹿児島県霧島市
Kagoshima Kirishima



朱赤の美しい第二鳥居。霧島神宮の表参道には、3本の鳥居がある。





芭蕉の棚田

Bashou Terraced rice fields

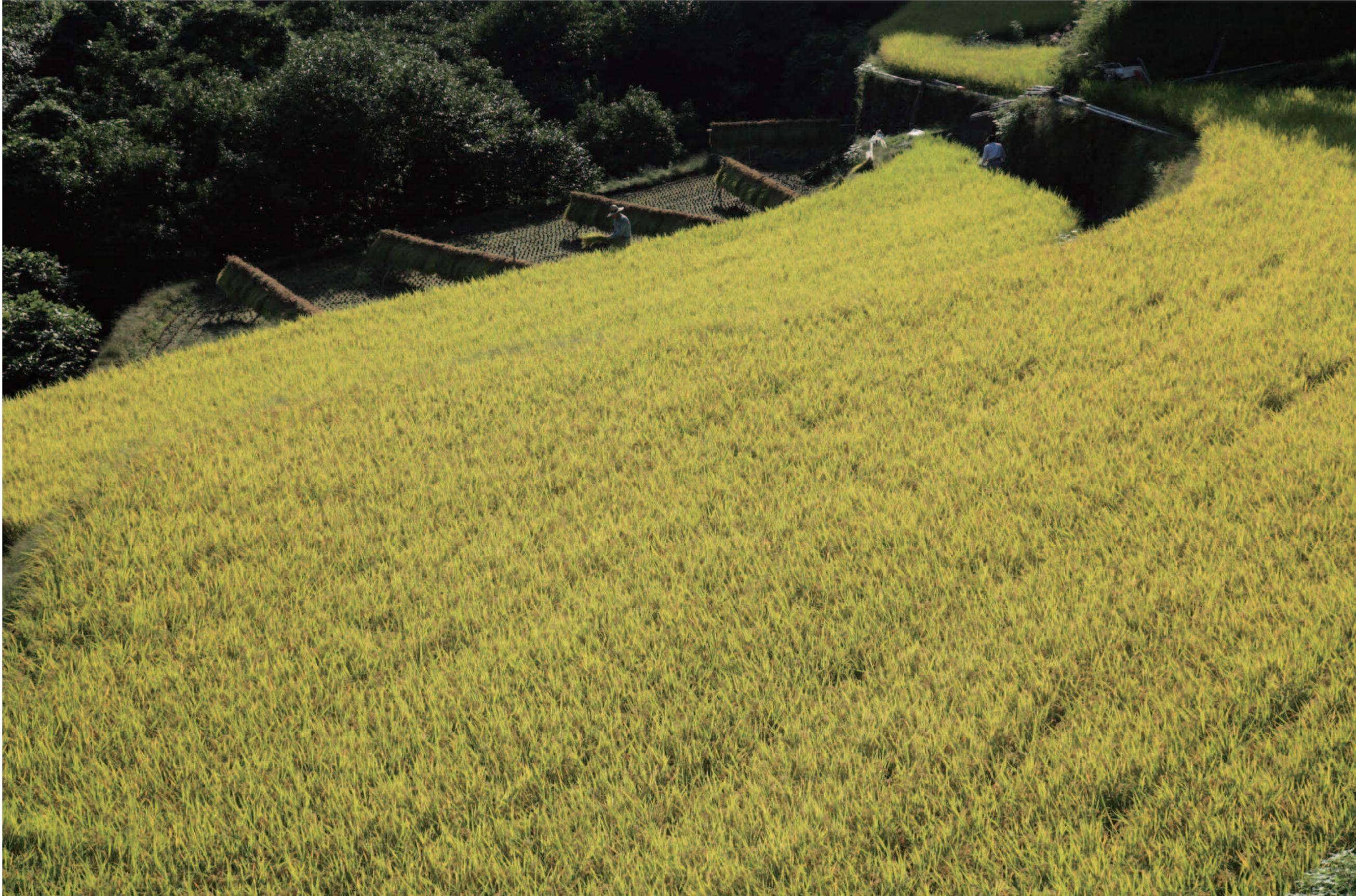
鹿児島県出水市から熊本県の水俣市へ向かう県道1117号を、矢筈峠方向へ車で約15分ほど行くと、道は狭くなり山合へと入っていく。坂の途中を右に折れ、坂を下ると左手に、山裾に石垣を段々に組み上げた棚田が見えてくる。

芭蕉集落は、出水市の山間部にある。急峻な矢筈岳の稜線に沿って、階段状に並ぶ美しい石垣の棚田は、大規模ではないが、味わいのある山村の原風景を今に留めている。

夕暮れ時、黄金色の稲穂の周りを、無数のトンボが飛び回り、キラキラと輝いていた。

鹿児島県出水市
Kagoshima Izumi





芭蕉の棚田
Bashou Terraced rice fields
鹿児島県出水市
Kagoshima Izumi

芭蕉の棚田

Bashou Terraced rice fields





出水市から車で約1時間の距離にある上場高原。春の菜の花に始まり、ポタン、アジサイと続き、秋には、なだらかな丘の斜面を25万本のコスモスが彩る。

上場高原
Uwaba Kougen
鹿児島県出水市
Kagoshima Izumi



出水麓武家屋敷

Izumi Fumoto Buketashiki

鹿児島県出水市
Kagoshima Izumi



市街地から、なだらかな坂道を数分歩くと、時間が停止したような風情ある情景が広がっている。出水麓地区は藩政時代、上級武士の住居地区として整備された地帯で、往時を偲ばせる武家門、屋敷や玉石垣、通り等が保存されており、当時の武家屋敷が一般公開されている。その中の「竹添邸」は、室内に上がり込み見学することができる。客間として使われていた座敷に座り、手入れの行き届いた庭をゆっくり眺めていると、タイムスリップしたような錯覚に陥る。

鹿児島県の北部にある伊佐市に、「東洋のナイアガラ」と呼ばれる「曾木の滝」がある。高さは12mで、さほど高くはないが、滝全体の横幅が210mと広いことから、そう呼ばれている。

秋、曾木の滝では「もみじ祭り」が例年模様される。滝全体がライトアップされ、幻想的な風景を楽しむ。また花火も打ち上げられ、多くの人々で賑わう。

曾木の滝

Sogi waterfall
鹿児島県伊佐市
Kagoshima Isa





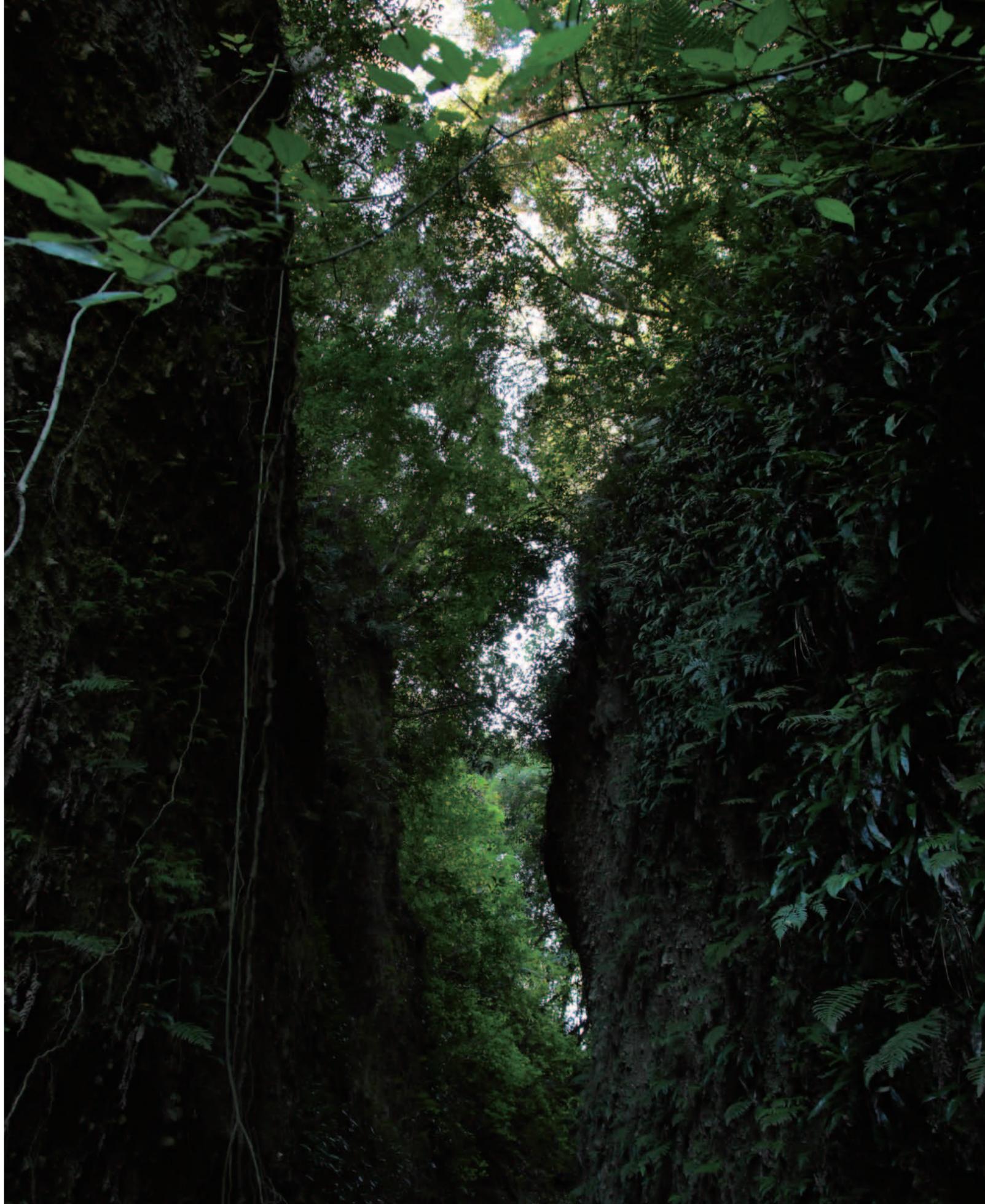
蘭牟田池 Imutaike 鹿児島県薩摩川内市 Kagoshima Satsumasendai



鹿児島市街地から車で約1時間の距離にある蘭牟田池。直径約1kmのカルデラ湖で、周囲を外輪山が取り囲んでいる。水草に加えて水鳥や

ベッコウトンボの生息地としても貴重であることから2005年(平成17年)ラムサール条約湿地に登録された。秋の早朝、朝日を浴びて

ゆっくりと外輪山が浮かび上がる。湖面の水鏡には山並みや、浮島が映り込んでいる。山間の湖の静寂な風景を堪能できる。



清色城跡

Kiyoshiki Castle Ruins

薩摩川内市入来町に、東西750m、南北600mにわたる山城跡がある。尾根上を「本丸」「松尾城」「西之城」「中之城」などの曲輪に分け、その間をシラス台地を削り取った、断崖絶壁の空堀が廻らされている。山城の史跡として、往時の雰囲気を感じられる貴重な場所だ。集落の裏山に、鋭角に削られた入口が設けられている。一人が行き来する程度の幅しかくうっそうとした木立が、陽の光を遮り薄暗く、地底へ続く秘密基地への入口のような雰囲気がある。奥へ進むと、それぞれの曲輪を結ぶ堀が、四方八方へと伸びている。獣道のような急勾配の坂を登ると、本丸などの跡地が、尾根上に姿を現す。

鹿児島県薩摩川内市入来町
Kagoshima Satumasendai Iriki



清色城跡
Kiyoshiki Castle Ruins



入来麓武家屋敷群

Iriki Bukuyashiki
鹿児島県薩摩川内市入来町
Kagoshima Satsumasendai



入来麓武家屋敷群は、鹿児島市街地から車で約1時間の距離にある。国の史跡に指定された中世山城である清色城跡の東面と樋脇川に囲まれた地域一帯が入来麓と呼ばれている。碁盤の目に区切られた、整然とした町並みに、玉石積の石垣と

緑の生垣の風景は、中世の風情を今に伝え残されている。玉石垣の続く通りは、四季を通じて様々な花々で彩られる。そこに暮らしてきた武士の面影が時を越えて、静かに佇んでいる。



鹿児島県の東海岸一帯は、夕焼けの景勝地だ。ここ江口海岸からも、東シナ海に沈む美しい夕日を見ることが出来る。刻々と変わってゆく、空と雲の色、ダイナミックな夕暮れの情景を楽しめる。

江口海岸

Eguchi Kaigan
鹿児島県日置市
Kagoshima Hioki





万之瀬川

Manose River

鹿児島県南さつま市

Kagoshima Minamisatsuma

万之瀬川

Manose River

鹿児島県南さつま市

Kagoshima Minamisatsuma



南さつま市を流れる万之瀬川の夕暮れ



島津家中興の祖で、島津義弘の祖父でもある島津 忠良の墓所がある竹田神社。この神社で有名なのが、「日新公いろは歌」の歌碑だ。5年余の歳月をかけ完成させたという薩摩藩の「郷中教育」の基本の精神となったとなったといわれる47首の

歌が刻まれている。後の薩摩武士の教典となった歌碑は、境内にある「いにしえの道」と呼ばれている参道沿いに設置されている。その参道を奥に進むと忠良の墓所がある。秋、境内の木々が美しく色付き紅葉していた。

竹田神社
Takeda Shrine
鹿児島県南さつま市
Kagoshima
Minamisatsuma

竹田神社

Takeda Shrine
鹿児島県南さつま市
Kagoshima
Minamisatsuma





亀ヶ丘は南さつま市の大浦町にある。標高387mの山の形が亀に似ていることからそう呼ばれている。舗装された登山道は車でも頂上まで行くことができ、東シナ海のリゾート式海岸や吹上浜が一望できる。

晩秋の亀ヶ丘は、北からの寒風に吹かれ凍えるような天気だった。勢いよく流れる雲間から、時折日が差し、坊津の海を照らしている。強烈なスポットライトが、海原を神々しい風景へと変えていく。

亀ヶ丘

Kamegaoka
鹿児島県南さつま市
Kagoshima
Minamisatsuma



亀ヶ丘

Kamegaoka
鹿児島県南さつま市
Kagoshima
Minamisatsuma

肥薩おれじて鉄道

Hlsatsu Orange Railway

鹿児島県出水市

Kagoshima Izumi



薩摩川内を出発した鉄道は、出水を過ぎ県境を跨ぎ熊本県の水俣へと入っていく。



日奈久みそ丸山商店

や
ヒナグミ
丸屋商店
TEL38-0007

日奈久温泉
Hinagu Onsen
熊本県八代市
Kumamoto Yatsushiro



風情ある金波楼の外観



金波楼の玄関



通りの、あちらこちらに山頭火がキャラクターとして使われている。



古い家並みが残されている

熊本県八代市にある県下有数の温泉。放浪の詩人、種田山頭火がこよなく愛したことで知られている。約600年前に開湯したと言われている日奈久温泉は、江戸時代、熊本藩細川氏の藩営温泉となり、その命によって大浴場が設けられ、その後大いに賑わった。街道筋を中心に明治・大正・昭和の町並みや建物、路地が残されている。特に、明治末期から昭和初期に建てられた木造三階建ての旅館が多く現存している。その中でも、国の登録有形文化財に登録されている金波楼は、趣きある外観だけでも一見の価値がある。



秋の夕暮れ、湯道具を抱えた人々が三々五々、お気に入りの湯の暖簾を潜って行く。学校帰りの子供に、声を掛けるお年寄りがいる。店の看板に灯を入れ、開店準備に忙しい人。日奈久の細い路地や通りを歩いていると、色々な風景や人に出会う。そのどれもが、懐かしく愛おしい情景に見えるのは、時代を超えて、残されてきた町の風景が大きく影響している。

2009年7月、明治時代に観光施設であった「本湯」をイメージした和風の新施設、日奈久温泉センター「ばんべい湯」が営業を開始した。

坪井親水公園

Tsuboi Water park

熊本県熊本市

Kumamoto

秋
熊本
旅



秋、熊本電鉄の坪井川駅近く。川原に広がるススキ原の奥に熊本城が見えた。

耳取峠

Mimitori Pass

鹿児島県枕崎市

Kagoshima Makurazaki

秋
鹿児島
旅



鹿児島県南さつま市の耳取峠から眺める、枕崎市街地と開門岳。



えびの高原にある3つの池の内のひとつ。
国道沿いであって、気軽に観光できる。

秋
宮崎
旅

不動池
Fudou Pond
宮崎県えびの市
Miyazaki Ebino

Yokaro vol.04 秋

企画・制作・編集・撮影・取材 / デザインスタジオ ワイズ
2012 禁止・無断転載 © デザインスタジオワイズ

秋
2011
旅

熊本・宮崎・鹿児島

